

今、私たちがめざす保育とは・・・ —新しい課題と向き合って—

人々の実つむぎ会

見玲美

全国民間保育園経営研究懇話会経営セミナー シンポジウム

地方の小さな法人・保育園 大きな事ができているわけではありません

- ▶ 京都経営懇には加入しているが、京都市内と京都府下の亀岡市とは行政が違う。
- ▶ 亀岡市で経営懇に加入しているのは当法人のみ。
- ▶ 亀岡市の園長会は、5年以上開催なし。（輪番制の園長会会長は、辞退を促され飛ばされてしまった。）
- ▶ 全国のいろいろなところから学びながら、法人内でコツコツがんばっています。
- ▶ 地方で孤軍奮闘しています。広い視野で運動をつくっていく。という点では、不十分です。・・・言い訳。



こんな保育園です

就職フェア・保育園紹介動画

たかが、19秒・されど19秒

2年目の保育士がつかいました。

保育が、こんなにリアルに伝わるのかと、感動！



**亀岡市
はこべ保育園**

2021年度 入園希望の減少

- ▶ 2021年、くわの実保育園・はこべ保育園とも4月入園希望が少なく、定員割れでスタート。
園長を降りて、専任理事長になる年。「さっそく経営課題ですか・・・」と責任を突きつけられる・・・。
- ▶ ずっと、《保育が必要》と言われて、がんばってきた。2ヶ園目もつくってきた。
- ▶ 「入園希望が少ない」ということは、「望まれていない」ということ。「経営難」に直結するということ。
- ▶ 2021年度予算：**人件費積立金600万円取り崩す**、マイナス予算。
- ▶ くわの実の大型修繕とはこべ保育園の建設資金に、施設整備積立金はほぼ使い切った。

園児募集のとりくみ

- ▶ 法人内に『中期経営見通し委員会』設置。
- ▶ 保護者WEBアンケートの実施
- ▶ 亀岡市内の入園状況の状況把握
- ▶ 園児募集のポスター作戦（現保護者・OB・職員）53枚の掲示
- ▶ 保護者から「募集しているんですか？入園は難しいと思っていました。」という声。『待機児』の感覚が大きいことを実感。
- ▶ **途中入園の受け入れ：くわの実15名・はこべ13名**
- ▶ **黒字決算で終わった2021年度。**

年度途中の入園希望に応える

- ▶ 途中入園の希望数は多い。
- ▶ 途中入園の受け入れ（保育士に余裕がないと受け入れられない。）

	くわの実		はこべ		合計	年度末園児数 (定員60名+ 60名)
	入園希望 (第一希望のみ)	途中入園 児数	入園希望 (第一希望のみ)	途中入園児 数		
2021年度	—	15名	—	13名	28名	131名
2022年度	39名	9名	43名	11名	20名	136名
2023年度(12月)	8名	3名	6名	4名	7名	131名

未入園の家庭の育児不安は大きい

- ▶ 地域子育て拠点事業への期待は大きい。
- ▶ 一時保育事業の利用希望も多い。
 - ・・・その利用家庭からの入園が、ほぼ50%。保育への信頼がある。

しかし、**保育士がいないと、希望に応えられない現実**

『どこでも誰でも通園制度』でなく、今も多くの保育園が実施している。保護者やこどもの姿に寄り添いながら。

保育園のマイナスイメージ

- ▶ 「ここは、不適切保育はありませんか？」と見学の際に聞く保護者。
- ▶ ニュースに出てくるのは、保育事故と不適切保育ばかり。
- ▶ 保護者の対応に苦慮

「『お宅の〇〇ちゃん、ハイハイして壁に頭ぶつけてたよ。』って、Rさん（ママ友）からラインきたんやけど・・・そんなことあったんですか？」

そんなことで、あたふたして、時間取られて、保育もだんだん小さくなって、細かいことばかり確かめ合って・・・

地産地消・食べることは生きること

- ▶ 40年前から、地元の野菜を給食に。安全な食材を。
- ▶ 『食べることは生きること』を大事にした給食づくり。
- ▶ 2021年7月から、法人としてフードドライブを実施したことで、新しい繋がりができた。
(大型商店：アル・プラザさん・イオンさん・マツモトさんなど。亀岡市の国際交流課・農林推進課・SDGS推進課など)
- ・ 亀岡市：2023年「オーガニック・ビレッジ」宣言
それにかかわる、座談会に呼ばれました。

『食べることは生きること』

- ▶ アリス・ウォータースさんの言葉：50年前
- ▶ くわの実は、40年前
- ▶ 保育園給食を保育の中心にした、水嶋敏子さんからの教えだったらしい。
 - ・ ・ ・ こんなところで、繋がるなんて！

婦人画報 1月号

「保育所を運営する細見」と載りました。

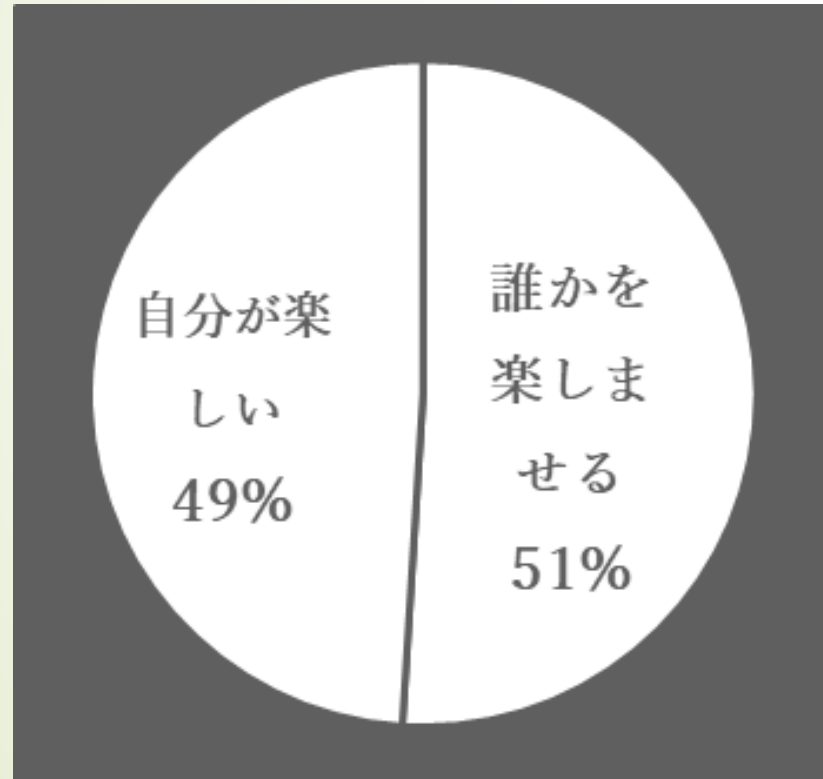




自分の仕事は、地球を救う

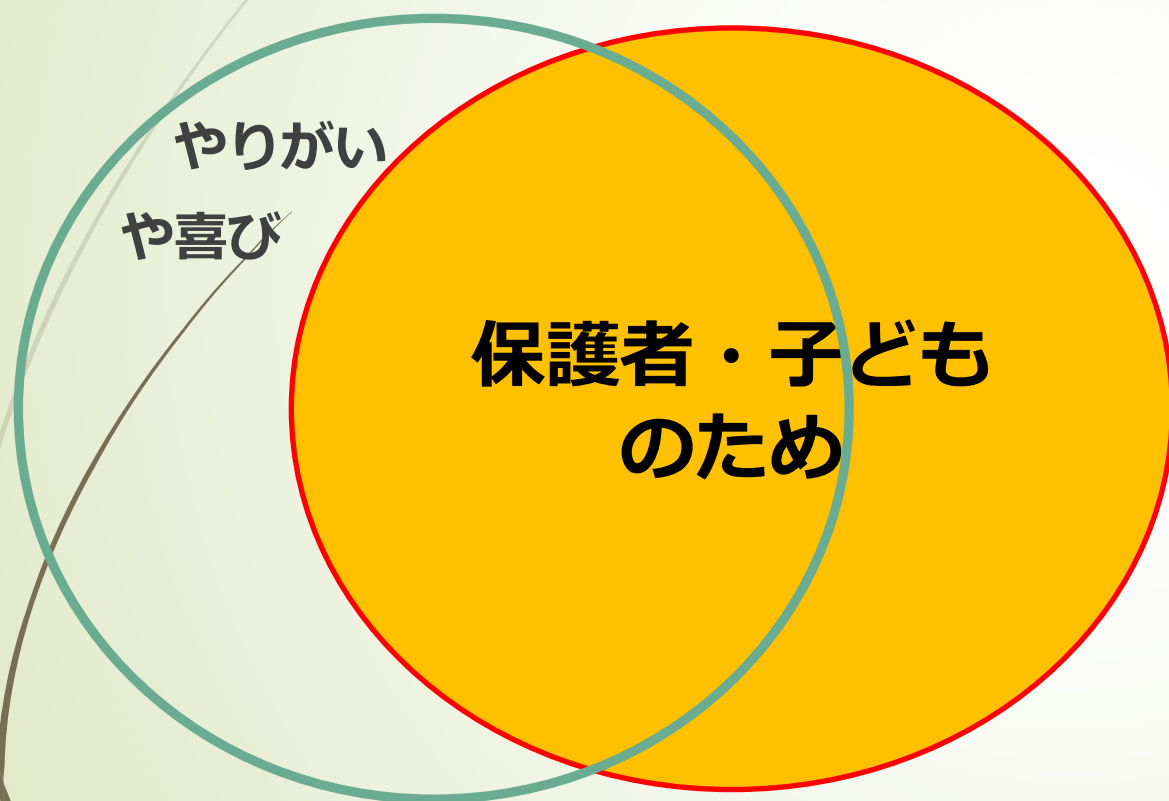
- ・フードドライブ・亀岡の農家さんとの繋がり。保育以外の人たちとの繋がりが新鮮！。
 - ・オーガニック農家さんが、生き生きしている。
 - ・「自分の仕事は、地球を救う。」と夢と確信がある。
 - ・まだ、実現もしていない亀岡市の中学校給食に「オーガニック野菜を入荷させる。」と確信している。
- 『ポストの数ほど保育所を』という勢いを彷彿させる姿。
- ・保育業界もエネルギーをあふれさせたい・・・ですね。

エンタテイメントは・・・



- ▶ コロツケさんの話
- ▶ 自分が楽しんでいないと、楽しませられない。
- ▶ 保育士ってどんなバランス？

保育士の割合は？



- 『保護者・子どもため』は、自分のやりがいや喜びと大きく重なっていた。
- 保育という仕事をしていることそのものが、喜びであり、楽しさでもあった。
- これって、30年前？20年前？

今の保育士は？

保護者・子ども
のため

やりがい・喜び

- 保育のおもしろさや楽しさはある。
- だからといって、それがすべて「やりがい」に繋がるわけではない。
- 保護者・子どものため、だけでは、重い？しんどい？
- 自分の時間は、絶対に大事。
- 当たり前のことです。

保育士募集を重点に

- ▶ リクルート委員会をつくって、取り組んできた。（理事長・園長1名・就職2年目の保育士2名）
- ▶ できることはなんでもやろう。就職フェアには、4回参加。
- ▶ 保育士募集のパンフレットの作成。
- ▶ 4名の保育士募集に対して、3名の内定。
 - ・ ・ ・先が見えてきたか ・ ・ ・という時に、
 - ・ くわの実、現場の保育士**9名中2名**・はこべ**9名中7名の退職**・継続を迷う。が、浮上。 ・ ・ ・『**経営問題**』**保育事業ができない事態**。
 - ・ こんなに素敵保育しているのに ・ ・ ・

近くの田んぼにお散歩

その子らしさを育てたい



週休2日・定時退社・・・

- ▶ 「週休2日で定時に終われるなら続けます。保育をするなら、この園で。だから、別の仕事探します。」という2年目の保育士。
- ▶ **ベテランの意識改革が必要。**
- ▶ この行事は外せない・・・子ども達も保護者も楽しみにしているから・・・みんなで見解を出し合って、意思統一するには会議は必要。
- ▶ 「子どもにとって」「保護者にとって」を最優先にしてきたが。

「一般企業と比べてどうか。」・・・

- ▶ 労働者人口は2割減。どの業界も人手不足。転職しようと思えば、いくらでもある。

	2022年度 全国平均	2022年度 当法人	差異
年間所定労働時間	1909時間23分	1960時間 プラス 時間外労働時間 平均156時間 計2,116時間	207時間 (1日8時間として 25日分)
年間所定休日	120.5日	97日	23.5日

(『労政時報』第4043号)

- ▶ 2021年 完全週休2日制：労働者数割合 54.9%
何らかの週休2日制：労働者数割合 90.2% (厚生労働省「就労条件総合調査」)

退職は、各園1名ずつになりそう・・・感謝！！

- ➡ 原則週休2日・・・所定休日は、97日から110日になる。
- ➡ 労働時間を減らす・・・1900時間にする。（夏休5日含む）
- ➡ 時間外勤務をなくす。・・・書類などの業務内容の見直しに取組中。
- ➡ 行事は大きく変更しない。が、毎月全員出勤で行っていた会議を辞める。

憧れられる保育園・憧れられる職場

- ▶ 大谷翔平：「憧れるのはやめましょう。」
- ▶ 今、私たちは：『憧れられましょう』
- ▶ 「あそこで子育てしたい。」 「あんな保育がしたい。」
- ▶ 入園したいと『憧れられる保育園』・仕事がしたいと『憧れられる職場』になっていこう。
- ▶ 9割の保護者は、「ここの入園できて良かった。」と思ってる。その確信を職員と一緒に実感していきたい。
- ▶ 少子化を配置基準の改善に繋げる。保育士が笑顔で保育できる条件をつくる。
- ▶ 「引き継ぎ」だけでは足りない。
- ▶ 新しい保育のうねりを創るために、発信していきましよう。

イメージアップの発信を



お芋掘れたよ